

手話の普及に向けて

手話普及コーディネーター・手話普及支援員が活動しています！



平成25年10月に鳥取県では全国初の手話言語条例が制定されました。これに伴い、県教育委員会では、子どもたちが手話を学ぶよりよい環境を整えるために、「手話普及コーディネーター」と「手話普及支援員」を配置しています。



ろう者の方も、「手話普及支援員」として活躍されています。子どもたちにとって、ろう者とかかわることを通じて、聴覚障がいについて考える良い機会となっています。

問合せ先 県教委特別支援教育課
電話 0857(26)7575 FAX 0857(26)8101

手話普及コーディネーターとは...

- 鳥取聾学校（鳥取市）と鳥取聾学校ひまわり分校（米子市）に1名ずつ配置
- 各学校からの手話学習の相談等に対応
- 「手話普及支援員」の各学校への派遣調整

手話普及支援員とは...

- 県民の方を対象に広く公募
- 現在約80名が登録
- 学校からの要請に応じて手話学習を支援
- 現在も募集中です！

手話普及コーディネーター

【東部・中部地区担当】

たむら ひとし
田村 仁志

電話0857-23-2031 FAX0857-27-8606
鳥取県国府町宮下1261番地

【西部地区担当】

うらき みきこ
浦木 幹子

電話0859-23-2810 FAX0859-23-2813
米子市上福原7丁目13番1号

授業等で手話普及支援員の派遣を希望される学校は、担当地区の「手話普及コーディネーター」にお問い合わせください。

グローバルリーダーズキャンパス

が開講しました！



米国スタンフォード大学による鳥取県の高校生向け遠隔講座「グローバルリーダーズキャンパス」の開講式が7月18日（月・祝）県教育センターで開催され、受講生36名のうち、31名の生徒が参加しました。

開講にあたり、平井知事からビデオメッセージが寄せられ、受講生に対して「物事が起こるのを待っているのではなく、自ら物事を起こす人材になってほしい。」との激励がありました。

そのあと、鳥取県との共同プロジェクトの立ち上げにあたり来日された、スタンフォード大学のグレイ・ムカイ博士から、受講の心構えや生徒への期待を込めたスピーチをいただき、それに対し



生徒代表が講座受講へ向けて「この経験を生かすため最善を尽くします。」と決意を英語で述べました。

本講座は、インターネット回線でスタンフォード大学と本県を結び、日米関係をテーマとして歴史や文化の観点から学んだり、受講生同士が英語で議論したりすることを通して、将来グローバルな視野を持って、世界や地域で活躍する人材を育成することを目的としており、大きな夢の実現に向かって努力する生徒をスタンフォード大学とともに応援していきます。

問合せ先 県教委高等学校課英語教育推進室
電話 0857(26)7959 FAX 0857(26)0408

夢と希望を叶える 地域未来塾

現在8市町において、大学生や教員OBなど地域住民の協力による学習支援「地域未来塾」を行っています。子ども達に学習する機会と場を提供することにより、学習意欲が高まり、学習習慣が定着するという効果が見られています。

伯耆町では、平成27年度から「**伯耆未来塾**」を実施しています。町内にある2中学校全学年を対象とし、毎週土曜日と長期休業中の開催日には、希望する生徒が会場の公民館に集います。講師は、教員OBなど地域の方

です。学習内容も、生徒の学習したい教科を重点的に行ったり、中学校で使用している問題集や宿題を行ったりなど、個人の希望に寄り添った学習支援を行っています。また、学校支援コーディネーターが、中学校の教員と連携を図り、学習進度や学習状況を確認しながら学習を進めています。

この「**伯耆未来塾**」を通して、わかることの喜び、勉強の楽しさを味わうことができると大変好評です。

28年度実施市町村

- 八頭町 若桜町 湯梨浜町 境港市
- 南部町 伯耆町 日南町 江府町

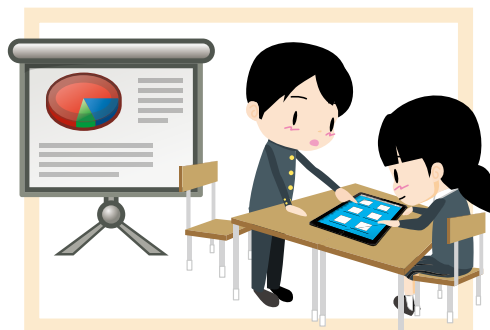


問合せ先 県教委小中学校課 電話 0857(26)7915 FAX 0857(26)8170

「**伯耆未来塾**」の様子

ICT機器等の整備

国の事業を活用して、地域未来塾で使用する機器の充実を図っています。



生徒の使用するパソコンやタブレットPC、教材を提示する大画面ディスプレイやプロジェクター、書類や立体物をスクリーンに映し出す書画カメラなどの機器を充実させることで、よりわかりやすく、興味・関心を持って学習することにつながっています。

鳥取湖陵高等学校

届けます専門高校の魅力！体験してくださいその面白さ

シリーズ 県立高校の取組

第1回 湖陵フェスタ開催 学習成果の発表と教育環境を公開

4つの大学科、5つの学科の専門高校です

農業学科 食品システム科

農業学科 緑地デザイン科

工業学科 電子機械科

家庭学科 人間環境科

情報学科 情報科学科

あなたの学びたいことを見つけてください

本校は、総合選択制の専門高校として開校15年を迎えました。農業・工業・家庭・情報の専門学科での実践的な学びを通して「スペシャリストの養成」、「地域産業を担う人材の育成」、「人間性豊かな職業人の育成」に取り組んでいます。多くの県民の皆様のご協力やご理解で充実した教育環境を整備していただき感謝しています。そこで、学習成果の披露を中心に、本校の専門教育を広く公開する催しを計画いたしました。「活力ある学校づくり」と「開かれた学校づくり」を目標に、さらに魅力的な学校を目指します。多くの皆様にご来校いただき、体験や見学をとおしてご意見やご要望をいただきますよう、ご案内いたします。



ハロウィンカボチャ



専門高校成果発表会



イメージキャラクター こりよっぴ

11月19日(土) 10:00~14:00《雨天決行》

＜パフォーマンスゾーン＞

専門科の学習成果発表・活動パネル展示、文化部ステージ、卒業生活躍紹介新聞等

＜専門体験ゾーン＞

スポンジケーキづくり、フラワーアレンジメント体験、ラジコン操作体験、コンピュータデザイン体験、EV自転車試乗会、iPad体験等

＜食の交流ゾーン＞

農業学科生産物・加工品販売、人間環境科弁当製作販売、各種模擬店、境港総合技術高校加工品販売(H28年度学校連携チャレンジ・サポート事業)等

※体験実習の内容は、変更することがあります。また、体験実習にはそれぞれ定員がありますので、ポスターやHPでご確認ください。できる限り公共交通機関をご利用ください。

鳥取湖陵高校では、他にも次のような教育に力を入れています。

主体的学習者を育成するために「参加し」、「協同し」、自分自身の前向きな変化に気づき自己の確かな成長を感じ取る「協同学習」を推進しています。

「アクティブラーニング」を推進するために昨年度から導入したiPadおよび電子黒板機能を有するプロジェクターを利用した「ICT教育」の推進を図っています。情報科学科では、一人一台のiPadを所有し、広く学習に用いています。

規範意識や人間関係形成能力(協調性・コミュニケーション能力)などいわゆる「キャリア教育」と、主権者教育などを含めた社会参画力の育成を図っています。

問合せ先 県立鳥取湖陵高校 電話 0857(28)0250 FAX 0857(28)0105

シリーズ 鳥取県のエキスパート教員

鳥取県では、優れた教育実践を行っている教員を「エキスパート教員」として認定し、教職員全体の指導力向上を図っています。

今回は、県立鳥取養護学校の澤勝也先生にお話を伺いました。

自分らしさを発揮するために ~子どもたちの心を支え、育てる授業づくり~

子どもたちにとって、「やりたい」「認められたい」という意欲と「わかった」「できた」という経験や達成感を結びつけるために、臨床心理学の視点を取り入れた自立活動の指導に取り組んでいます。

学校生活において、自信のなさや不安感等から「やる気がでないよ」「つらいよ」という気持ちを表したり、新たな課題や人との関わりを避けようとしたりする生徒の姿が見られる時、次の2点のことを大切に授業づくりを行っています。



「子どもの「がんばりたい」「やってみよう」を高める

子どもの課題を解決する力や人との関わりを育てるためには「がんばりたい」「うまくなりたいたい」という気持ちを大切にします。

たとえば保育園との交流では、どうすれば園児たちと楽しく交流することができるかを生徒たちで考え、活動を選択する場面を設定します。また、ソーシャルスキルトレーニング等とおして初めて会う人との関わり方も学習します。それが結果として失敗しても、子どもたちが自分なりの方法で「課題を解決しよう」「人と関わろう」と努力した姿に注目し、子どもたちの頑張りや成長、子どもたちに寄り添い、再挑戦しようという気持ちを高めます。



「段階的なアプローチにより自信や安心感を高める

困難さにつぶかることで生じたストレスや不安を和らげたりする学習に取り組みます。ストレスや不安への対処では、まず自分のことが分かり、自分のことを言語化して語ることがめざします。そのために、ストレスや不安のメカニズムや自分の感情や不安の認知について学習します。またリラックスできる呼吸法や子どもに合った対処法についても学びます。そして活動への自信と安心感が高まったところで、少しでも工夫や修正ができることを提案し、「これならできるかも」と自ら決めて挑戦し始めるまで、丁寧に分かりやすく関わっていきます。

子どもたち一人一人の「自分らしさ」が発揮できるように、これからも取り組んでいきたいと思ひます。

問合せ先 県教委特別支援教育課 電話 0857(26)7575 FAX 0857(26)8101

シリーズ プロ(文化財主事)が教える文化遺産のツボ!

第23回 仏像のおはなし

みなさんは仏像をじっくりと見たことはありますか?遠くからはあるけど、間近で見たことがある人は少ないのでは?今回はそんな仏像についてお話しします。

仏像といえば、奈良の大仏や鎌倉の大仏、奈良県興福寺の阿修羅像などが有名ですが、よく見るといろいろな顔や格好をしています。例えば、パンチパーマみたいな髪型に微妙にほほえんだような顔、もしくは髪を逆立てて怒っている顔をしているもの、ネックレスや腕輪をしたオシャレなもの、動物の顔をもったものなど様々です。

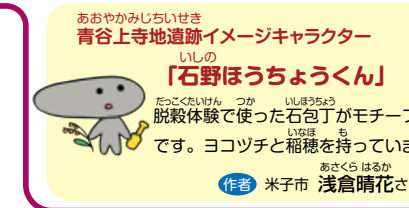
ではどうしてこんなにもいろいろな種類の仏

像があるのでしょうか。これは、それぞれの仏さまの性格を反映しているからだと思ひます。例えば、髪を逆立てて怒っているような仏像(明王といひます)は、聞き分けのない、欲深い人をまっとうな人へと更正させる役割を持っているといった具合に。

わたしたちの生活にとって仏像は、お寺に行けば見ることが出来る身近な存在ですが、よく見るとほかにも、いろいろなことが分かります。もし機会があれば、どんな形や表情をしているのかじっくり見てみるとおもしろいかも思ひませんか。



係長 玉木 秀幸



あおやかしちいせき 青谷上寺地遺跡イメージキャラクター 「石野ほうちようくん」



問合せ先 県教委文化財課 電話 0857(26)7934 FAX 0857(26)8128
鳥取県の文化財情報 HP(とっとり文化財ナビ) http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/index.htm